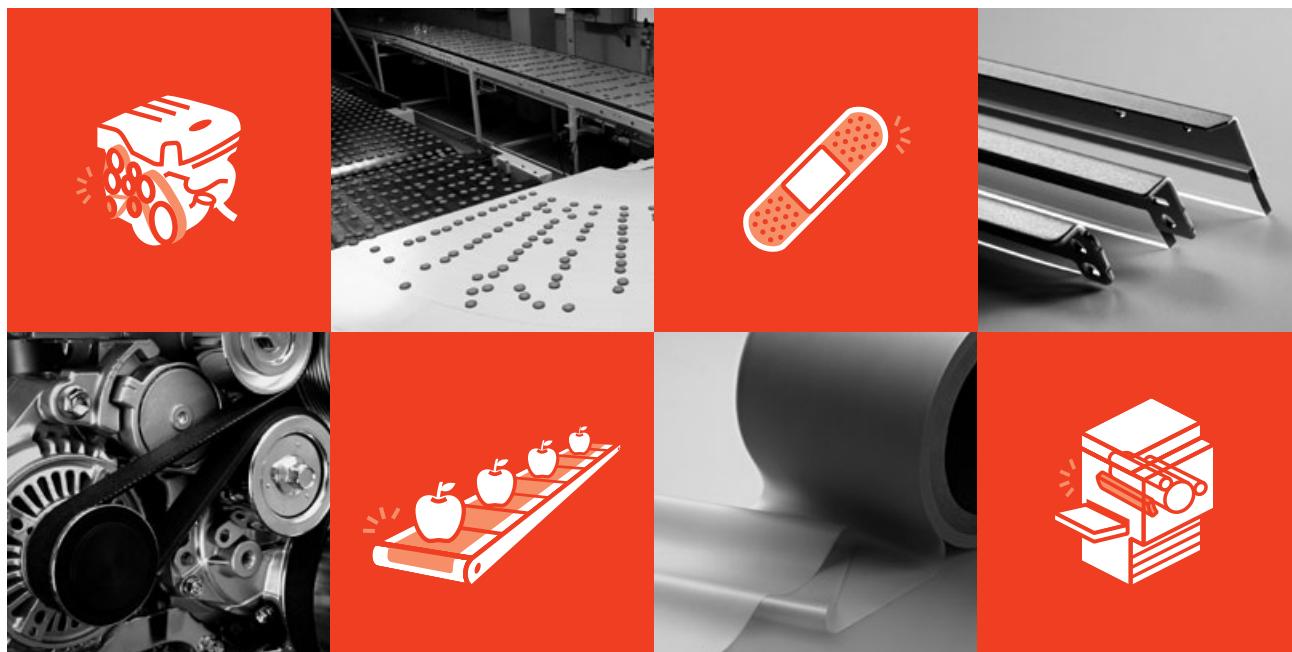




*Breakthroughs for the future*

# 第94期中間 株主通信

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



**バンダー化学株式会社**



## 真のグローバル企業として、 国内外における事業活動を推進

代表取締役社長 **吉井 満隆**

### ご挨拶

株主の皆様には、日頃は格別のご高配に預かり、心からお礼申し上げます。第94期中間株主通信をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国においては個人消費の底堅さを背景に回復基調が継続しましたが、欧州においては、英国EU離脱問題により先行きが不透明な状態で推移いたしました。中国においては、減速基調は変わらず、アセアン地域においては、タイ、ベトナムなど一部の国では改善傾向がみられるものの総じて力強さに欠けた状況で推移しました。また、日本においては、経済政策の下支えなどにより、緩やかな回復で推移いたしました。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国や欧州では引き続き自動車生産台数が増加いたしました。中国におきましても、昨年10月に実施された小型車に対する減税措置の効果が継続し、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。一方、日本では、熊本地震や軽自動車販売減少の影響などにより、生産台数が前年度を下回りました。また、産業機械分野においては、国内の設備投資に持ち直しの兆しがみられるものの、なお低い水準で推移いたしました。一方、国内

の住宅・非住宅着工戸数は、堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第1ステージの4年目として、自動車用、二輪車用、農業機械用および一般産業用の伝動ベルト、軽搬送用ベルトなどを主軸として販売体制を強化し、中国、アセアン地域を中心に顧客開拓を推進いたしました。また、現行製品の改良・開発を進め、当期間中には国内初となる高温搬送用途で使用することが可能な自己消炎性を有した難燃耐熱コンベヤベルトFR7000シリーズを開発いたしました。一方、収益力向上のため原価低減活動を徹底し、世界最適調達・生産・供給体制の構築によるグローバル競争力の強化にも取り組んでまいりました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間は、円高影響もあり、売上高は438億1千3百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は28億5千5百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益は27億6千2百万円（前年同期比20.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億9千5百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### トップインタビュー

**Q** 国内事業の取り組みをお聞かせください。

**A** 国内では、高負荷対応の歯付ベルト「Ceptor®-X（セプターテン）」や工作機械摺動部用シールブレード「バンドーワイパーエッジ®EX（イーエックス）」などのような、高機能で付加価値の高い製品を今後も提供していきたいと考えております。加えて、製品を販売するだけではなく、メンテナンスサービスやモニタリングサービスなど、お客様が製品を使用した際に必要となる「事」をソリューション提案していくことによって、顧客価値をさらに向上させていきたいと考えております。昨年度、設備投資を行った国内工場については、加古川のコンベヤベルトの新生産ラインは、今年6月に、足利のウレタン精密ベルトの新生産ラインは、今年10月に、それぞれ稼働を開始しており、高品質な製品の生産体制が整いました。また、南海工場では自動車用ベルトの新生産ラインの導入も進めております。今後、これらのモデルラインを活用し、ものづくりの進化を目指してまいります。

**Q** 海外事業の取り組みをお聞かせください。

**A** 海外拠点では、近年、大きな設備投資を行ってきたインド、ベトナムは順調に推移しております。ベトナムでは、今年度、現在と同じ第2タンロン工業団地に新たに用地を取得し、移転・拡張していく計画を推進しており、年度内に着工し、来年度には稼働させたいと考えております。インドでは、二輪車用部品や自動車用ベルトの

生産体制の拡張を行う予定です。中国もほぼ堅調に推移しており、産業機械用や農業機械用のベルト製品の採用が広がっています。タイでは、マレーシアのワイパーブレードラバーの生産工場を集約し、より良いものづくりができるように投資を行い、事業基盤をさらに強化していきたいと考えております。そのほか、北米では、昨年10月に米国子会社がメキシコシティに販売会社を設立し、自動車用ベルトのアフターマーケットにおける販売拡大活動を推進しております。

今後は海外事業がさらに拡大していく見込みですが、真のグローバル企業として成長を続けていくため、新規事業開拓を含めて国内との最適分業を行い、さらなる革新を目指してまいります。



# 「創業110年のあゆみ」



**4月14日  
阪東式調帯合資会社創業**  
榎並充造氏が初代社長に就任。創業品の開発者である阪東直三郎氏を有給専属技師として、バンドーの歴史が始まった。



**「不思議に強い  
バンドーのゴム靴」**  
この年からゴム靴・ゴム引き漁業用カッパの製造を開始。ゴム靴は、そのキャッチフレーズとともに漁村や農村を中心に地盤を築いていった。



**もみすりロール  
生産開始**  
当時一般的だった土臼ずりを機械によって行うという農村動力化の機運を促し、1935年ごろには国内生産量で1、2位を争うようになった。



**南海工場 操業開始**  
戦時下、物資の統制が進む中、少しでも多く原材料の割り当てをうけるために有限会社南海調帯製造所に出資。当社の南海工場として、主に平ベルトの生産を開始した。

**塩化ビニル製品の  
販売開始**  
戦後の日本の復興成長の兆しを敏感に察知しながら、合成樹脂に注目し、ビニパンや農業用ビニル製品の生産を開始した。



**オール自動車ショーに  
タイヤを出展**  
二輪車・四輪車用タイヤの生産を開始した。(1968年にタイヤ事業から撤退)



**ポリウレタン製品  
「バンコラン」販売開始**  
ゴム、塩化ビニルに続く分野としてポリウレタン弾性体に着目し、研究を進める。ベルトの材料のほか、それ以外の工業用品への用途開発をしていく。

**加古川工場  
操業開始**  
主にコンベヤベルトの生産を開始した。



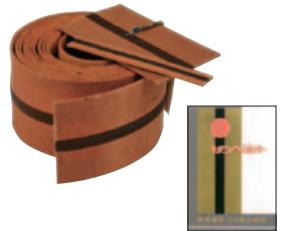
**樹脂コンベヤベルト  
「サンラインA」販売開始**  
ベルトの技術、ビニールの技術、ウレタンの技術を融合した樹脂製ベルト。食品の他に製紙、紡績、機械工具、自動包装机などの分野にも広く使用された。



**クリーニングブレードの  
本格生産開始**  
これに先立ち1970年に開発された国産初の普通紙複写機のフリーニングブレードにバンドーのポリウレタン製ブレード素材が採用された。

1906 1913 1918 1921 1931 1932 1940 1945 1950 1953 1957 1959 1961 1967 1970 1972 1973 1975

**「サンベルト」  
製造販売開始**  
1909年、若き技術者今井恭次郎氏を工場長として迎え入れ、ゴムの研究に着手。試作品による改良を重ね、念願の国産ゴムベルト「サンベルト」が誕生した。



**日本初の  
コンベヤベルト製造開始**  
ベルトの本格的な生産体制を整え、1921年、日本初のコンベヤベルトを開発。さらに1925年には、実用新案の登録を受け、ベルトメーカーの地位を確かなものに。



**日本初のVベルト  
「バンロープ」製造開始**  
電動機の発達、とりわけその小型化に対応した日本初のVベルトを開発。「バンロープ」の商標で本格的な製造を開始した。



**神戸大空襲3工場全焼**  
神戸(2010年閉鎖)、芦原(1970年閉鎖)、水木(1973年閉鎖)の3工場が罹災・全焼。唯一戦火を免れた南海工場への要員の振り向けなど、全社員一丸となった努力が報われ、なんとが復旧を果たす。



**昭和天皇へ靴を納める**  
宮内庁を通じた用命を受け、黒色帆布にゴム底を編み上げた靴を納品。皇太子様(現天皇陛下)にはテニスシューズを納めた。

**日本初の歯付ベルト  
「シンクロベルト」  
販売開始**  
プーリと正確にかみ合うため、正確な回転数や移動量を伝達できる同期伝動ベルトとして、普及していく。



**神戸市の地下街さんちか  
公道国産第1号  
ステンレスマンコンベヤ  
にベルト採用**  
1965年に誕生した神戸の地下街さんちか。後に設置された動く歩道にバンドーのベルトが採用された。



**バンドー化学株式会社に  
社名変更  
東証一部上場**  
従業員に新社名を募集し、1,026件の応募から採用された。

**バンドー化学株式会社**

**足利工場 操業開始**  
主にポリウレタン製品の生産を開始した。

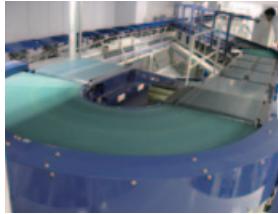




**自動車用Vリブドベルト「リブエース」販売開始**  
冷却ファン、エアコン用コンプレッサー、パワステ用ポンプなど、複数のV型ベルトで駆動されていた機構を1本のベルトで動かす、コンパクト化・軽量化を実現した画期的なベルトの国産化に成功した。



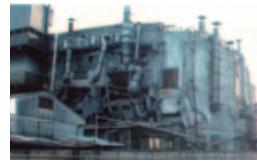
**高機能樹脂製品「ミューライト」販売開始**  
複写機などのトナー攪拌用、用紙の送り用などの軸受部に、耐摩耗性、異音、無給油などのメリットによって様々な用途に採用されている。



**樹脂コンベヤベルトシステム「ベルコーナ」販売開始**  
コンベヤラインの曲送装置として、物流システムの効率化に貢献する製品として数多く使用されてきた。



**二輪車変速機摺動部品「ウエイトローラ」を開発**  
二輪車の変速機構部の機能部品として、現在でも様々な車種で使用されている。



**阪神・淡路大震災により本社事務所 神戸工場などが被災**  
神戸工場西工場が全壊し、一部の工業用品の生産を足利工場に移管した。  
また、本社事務所の入居ビルが被災し、その機能を臨時で移管した。



**CVT用ベルト「BANDO AVANCE」販売開始**  
樹脂複合素材の乾式CVTベルトが世界で初めて自動車に採用された。



**高機能ローラ「帯電ローラ」販売開始**  
電子写真出力機における接触帯電方式のキーパーツとして採用された。その後、柔軟性や抵抗値を制御した精密機能部品として様々な機種に採用されていく。



**省エネタイプの「スチールコードコンベヤベルト」販売開始**  
ローラ乗り越え抵抗の低減により、消費電力を低減させた環境にやさしいコンベヤベルトとして、様々な用途に採用されていく。



**搬送用歯付ベルト「バンコランロングシンクロベルト」販売開始**  
ポリウレタンの耐摩耗性を活かし、クリーン環境での用途（プリンタ・プロッタなどの駆動用、液晶・半導体などの軽搬送用）を中心に幅広く採用されている。



**創業110周年記念式典を開催**  
4月14日、創業110周年を迎え、本社事業所において、記念式典を開催した。

1981 1982 1983 1989 1990 1996 1998 1998 2001 2002 2003 2006 2007 2016

**エンドレス樹脂コンベヤベルト「スーパーサンライン」販売開始**  
継ぎ目がないジョイントレスベルトとして、幅広い業種に使用されている。

**米国ニューヨーク州向け地下鉄車両325台にゴム床材「バンライト」を納入**  
ニューヨーク市車両規格に合格し、高度の難燃性があり、広幅・長尺なゴム製の床材として、現在まで改良を重ね、多くの販売実績を築いていく。

**ベルト式無段変速システム「バンドードライマチック」を開発**  
夢の変速システムとして、農業機械用を中心に無段変速機構を確立していった。部品の開発から伝動システム開発の先駆けとなる。

**和歌山工場伝動技術研究所操業開始**  
最先端を行く伝動技術の研究と歯付伝動ベルトの生産を開始した。

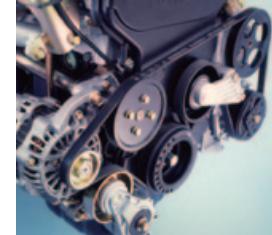
**マーキングフィルム「バンドーエクシード」販売開始**  
熱接着型マーキングシートとして開発。文字・図柄等をカッティングマシンで切り抜き、各種基材へ熱プレスやアイロン等で貼りつけて使用される。

**世界初のサーペンタインドライブ用「Vリブドベルトとオートテンション」販売開始**  
軽自動車の安全規格変更による新車格基準に基づき開発された車種に軽自動車としては世界で初めて装着された。

**一方方向クラッチ内蔵プーリ「バンドースムースカップラー」を開発**  
エンジンの回転変動をキャンセルし、変動軸力、張力を低減させる一方方向クラッチを内蔵したオルタネータプーリとして、伝動システム全体の信頼性を向上させた。

**傾斜搬送用ベルト「ミスタークライマー」販売開始**  
高グリップ力を維持し、荷滑りを防止する傾斜搬送用ベルトとして、現在でも物流センター、空港などに幅広く採用されている。

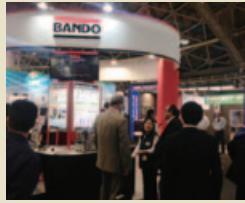
**本社事業所R&Dセンターをポートアイランドに移転**  
2006年の創業100周年を機に研究開発機能と本社機能の連携強化を目的として、現在のポートアイランドに移転した。



# TOPICS

2016  
4月

- 「第1回M-Tech NAGOYA」に出展 (ポートメッセなごや)



第1回 M-Tech NAGOYA (ポートメッセなごや)

5月

- 名古屋オフィスを移転

6月

- 「国際フロンティア産業メッセ2016」に出展 (神戸国際展示場)

今回の出展では、「次世代を創世する技術の結集」をテーマに「嚙下回数計測ツール」や「呼吸計測ツール」など、伸縮性ひずみセンサ[C-STRETCH®(シーストレッジ)]を用いた身体機能の計測機器を展示いたしました。当センサを医療、福祉やアパレルなどの分野で商品開発に必要な動作解析に活用できると考え、用途開発を推進しております。

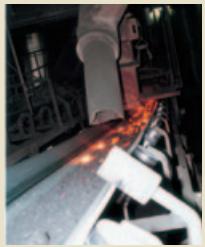


国際フロンティア産業メッセ2016 (神戸国際展示場)

7月

- 難燃耐熱コンベヤベルト[FR7000シリーズ]を開発

安定した連続搬送が求められるベルトコンベヤにおいて、不慮の火災によるライン停止は多大な損害を与えることとなります。特に、火災の原因となりやすい高温搬送物を運搬するラインにおいては、難燃性能を有するコンベヤベルトが求められています。当社は、従来から長年蓄積してきた配合設計技術、ベルト設計技術を活用し、難燃性能を有するコンベヤベルトとして難燃ベルト、難燃耐摩耗ベルト、難燃耐油ベルトをラインナップしてまいりました。今般、これらのラインナップ品に加えて、新たに高温搬送用途の難燃耐熱ベルトを開発いたしました。



難燃耐熱コンベヤベルト [FR7000シリーズ]

8月

- 「FOOMA JAPAN2016」に出展 (東京ビッグサイト)



FOOMA JAPAN2016 (東京ビッグサイト)

- 「監査等委員会設置会社」に移行

- 光学用透明粘着剤シート「Free Crystal®」を開発

タッチパネルディスプレイ製品の各部材の貼り合わせに用いられる光学用透明粘着剤シートは、タッチパネルの用途拡大に伴い、ニーズの多様化が進んでいます。特に車載用途においては視認性改善や曲面ディスプレイにおける貼り合わせ、耐衝撃性への対応などの観点により、光学用透明粘着剤シートの厚膜化が求められています。当社は、長年蓄積してきたエラストマー材料技術、成形技術を活用することにより、1,000μm以上の厚膜化に対応した製品を開発いたしました。

光学用透明粘着剤シート Free Crystal®

- 「第20回 M-Tech」に出展 (東京ビッグサイト)



第20回 M-Tech (東京ビッグサイト)

- 「CSR報告書2016」を発行



CSR報告書2016

9月

## 事業別の概況

### 自動車部品事業

売上高	19,811百万円	前年同期比	8.3%減
セグメント利益	1,264百万円	前年同期比	18.5%減

#### 概況のポイント

●自動車部品では、国内において積極的な営業活動により補修市場への販売は増加したものの、軽自動車の販売不振や熊本地震の影響など自動車生産台数が前年度を下回った影響が大きく、国内では販売が減少。一方、海外において中国やタイの自動車生産台数は堅調に推移し、販売が増加。スクーター用変速ベルトは、タイ、インドおよびベトナムにおいて積極的な顧客開拓に注力し、販売が伸長。全体では、現地通貨ベースで売上高を伸長させたものの、円高の影響により減収。

### 高機能エラストマー製品事業

売上高	7,315百万円	前年同期比	6.9%減
セグメント利益	116百万円	前年同期比	64.8%減

#### 概況のポイント

●精密機能部品では、当社主要顧客である国内外のOA機器メーカーの減産の影響により、クリーニングブレード、高機能ローラおよび精密ベルトなどの販売が減少。  
●機能フィルム製品では、国内において非住宅関連の需要が好調に推移したことや、積極的な営業活動により建築資材用、工業資材用および医療関連用フィルムの販売が増加。

### 産業資材事業

売上高	15,866百万円	前年同期比	11.1%減
セグメント利益	1,206百万円	前年同期比	9.0%増

#### 概況のポイント

●一般産業用伝動ベルトは、中国およびタイにおける販売強化により農業機械用伝動ベルトの販売が増加したものの、国内において設備投資需要が低位で推移している影響を受け、販売が減少したため、全体では販売が減少。  
●運搬ベルトは、日本、中国およびアセアン地域における積極的な顧客開拓を進めたことにより、樹脂コンベヤベルト(サンライン®ベルト)の販売が増加したものの、資源価格下落に伴う需要減少の影響を受け、鉄鋼用および資源開発用のコンベヤベルトの販売が減少。

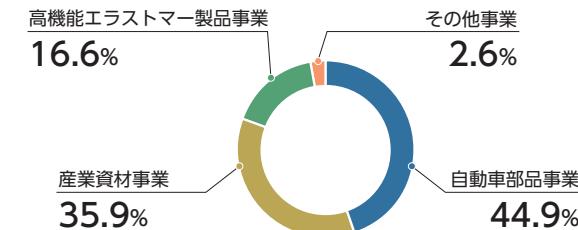
### その他事業

売上高	1,168百万円	前年同期比	12.5%減
セグメント利益	188百万円	前年同期比	19.7%増

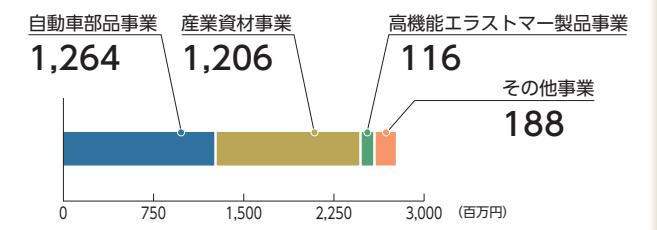
#### 概況のポイント

●ロボット関連デバイス事業や金属ナノ粒子のナノ粒子創生技術などを活かした新製品開発を推進。

#### 当第2四半期累計の事業別売上高構成比



#### 当第2四半期累計のセグメント利益



※上記の各セグメント別売上高およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

## 財務ハイライト

### ▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

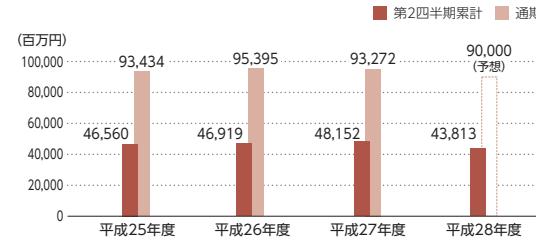
科目	当第2四半期末 (H28.9.30)	前期末 (H28.3.31)	
資産の部	流動資産	44,733	47,520
	固定資産	41,436	43,244
	有形固定資産	27,960	29,486
	無形固定資産	1,209	1,188
	投資その他の資産	12,266	12,568
資産合計	86,169	90,765	
負債の部	流動負債	22,933	24,980
	固定負債	10,613	10,580
負債合計	33,546	35,560	
純資産の部	株主資本	55,983	55,756
	その他の包括利益累計額	△3,745	△970
	非支配株主持分	385	418
純資産合計	52,623	55,204	
負債純資産合計	86,169	90,765	

### ▶ 連結損益計算書(要旨)

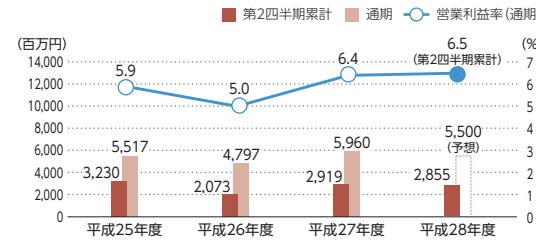
(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 (H28.4.1から H28.9.30まで)	前第2四半期累計期間 (H27.4.1から H27.9.30まで)
売上高	43,813	48,152
営業利益	2,855	2,919
経常利益	2,762	3,491
税金等調整前四半期純利益	2,762	3,491
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,095	2,592

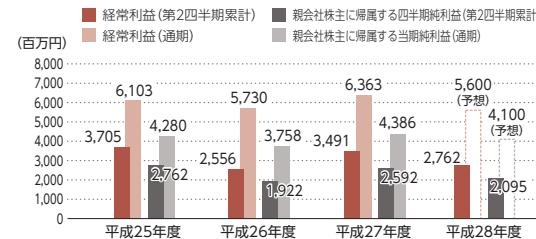
### ▶ 売上高



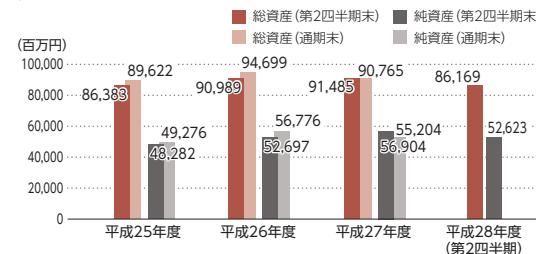
### ▶ 営業利益/営業利益率



### ▶ 経常利益/親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



### ▶ 総資産/純資産



## 株式の状況/会社概要 (平成28年9月30日現在)

### ▶ 株式の状況

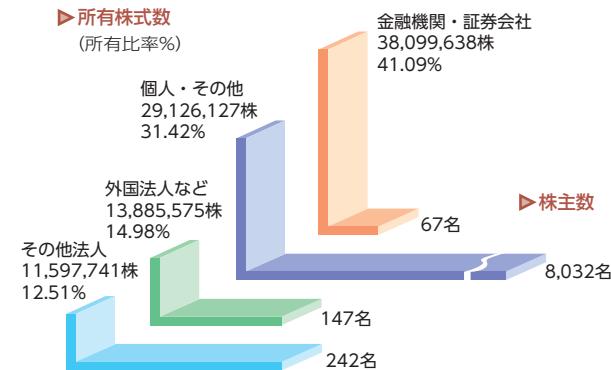
発行可能株式総数	378,500,000株
発行済株式の総数 (自己株式1,717,992株を含む。)	94,427,073株
株主数	8,488名

### ▶ 大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
バンドー共栄会	7,436千株	8.02%
株式会社三井住友銀行	4,651	5.01
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,004	4.31
明治安田生命保険相互会社	4,000	4.31
株式会社みずほ銀行	3,600	3.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,150	3.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,977	3.21
日本生命保険相互会社	2,349	2.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,911	2.06
東京海上日動火災保険株式会社	1,839	1.98

(注) 1. 出資比率は、自己株式(1,717,992株)を控除して算出しております。  
2. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。

### ▶ 株主構成



当社は、平成28年10月1日付で、単元株式数の変更(1,000株から100株)、株式併合(2株を1株に併合)を実施いたしました。

### ▶ 会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年(明治39年)4月14日
設立	1937年(昭和12年)1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号 TEL (078) 304-2923
ホームページアドレス	http://www.bando.co.jp

### ▶ 事業所

本店(本社事業所)・R&Dセンター  
東京支店、名古屋オフィス、大阪オフィス、足利工場、和歌山工場・R&Dセンター伝動技術研究所、南海工場、加古川工場

### ▶ 役員

取締役	
代表取締役社長	吉井満隆(社長執行役員)
代表取締役	玉垣嘉久(専務執行役員)
取締役	中村恭祐(常務執行役員)
取締役	柏田真司(常務執行役員)
取締役(監査等委員)	松坂隆廣(常勤)
取締役(監査等委員)	重松崇
取締役(監査等委員)	清水春生

### ▶ 執行役員

常務執行役員	大原正夫
常務執行役員	岩井啓次
常務執行役員	北林雅之
常務執行役員	鮫嶋
執行役員	Joseph David Laudadio
執行役員	畑克彦
執行役員	山口勝也
執行役員	永瀬貴行
執行役員	万場一幸
執行役員	松尾聡
執行役員	染田厚

※取締役(監査等委員)松坂隆廣氏、取締役(監査等委員)重松崇氏、取締役(監査等委員)清水春生氏は社外取締役であります。

## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL (通話料無料) 0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.bando.co.jp">http://www.bando.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞および神戸新聞に掲載して行う。
上 場 取 引 所	東京 (第1部)

### 〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# BANDO



バンドーグループは  
環境にやさしい事業を  
推進しています

